

銀漢亭日録

伊藤伊那男



7月3日(金)▼「春耕」の石鍋みさ代さんが、ご主人の形見の着物を仕立て直したとて、一式、送って下さる。秋には、結城紬も送って下さる。

4日(土)▼八時三十分発、レッドアロー号にて秩父へ。横瀬下車。「芝刈会」武田夫妻以下十一人。明智寺、法長寺、語歌堂、秩父神社と十キロほど吟行。「割烹かつら」にて句会。天麴羅、鰻井で親睦会。十八時前帰宅。

5日(日)▼昨日今日は家で撮影会。ヘアメイクの中川さんも来ていて、カットして貰い、私も写して貰う。毎日新聞の「俳句でふてふ」歳時記の例句選びの作業に入る。膨大な作業。引き受けなければよかつた。と……。

6日(月)▼暮目良雨句集「九曲」評、八百字、「俳句四季」(九月号)へ送る。

7日(火)▼誕生日。七十二歳。昼、発行所。武田編集長、志水さん、井蛙さん、引越しの梱包。十三時、武田さんと神田土地建物を訪問し、新発行所の賃貸契約。孫が手作りの抹茶味のチョコレートケーキを作ってくれる。

8日(水)▼雨の合間を縫って農家の野菜買いに。あと買い物をかねて祖師谷大蔵へ散歩。焼茄子十本ほど作る。竹内洋平さんから来年の調布市文化事業の講師の打診あり。「銀漢」八月号の校正。

9日(木)▼NHK俳句の「俳人発、俳人着」の堀切君とのコラボ。俳句略歴、写真など送る。十月号は堀切君が私の事を。十一月号は私が

堀切君のことを。

10日(金)▼夜中、二時位に目が覚めてしまい、「銀漢」九月号のエッセイ、自句自解、盤水今月の一句など荒書きをする。目を上げると五時。夜が明けていく。十時、発行所の引越越し。新発行所で荷を待つ。編集部の方々総出。早速、皆川文弘氏から転居祝いに酒が届く。

11日(土)▼農家の野菜買いに行く。モロヘイヤのおひたし、ポテトサラダ、キュウリとニンジンの浅漬けなどを作る。古市文子さんより鱈一尾到来。捌き、刺し身、昆布締、あら煮など用意。「俳句でふてふ」に「俳句万華鏡④」(エッセイ)を送る。

12日(日)▼晴。蒸し暑い。農家の野菜を買いに散歩。「銀漢」九月号自句自解を飛露さんへ、エッセイを政三さんに送る。「春耕」九月号へ投句。夕方、杏一家来て、私の七十一歳の誕生日祝いをしてくれる。一家十二人。有難いこと。昨日用意の鰻料理。

13日(月)▼「俳句界」十月号、三十句とエッセイなど。十四時、毎日新聞本社「生活の窓口」というカルチャーでの講演の打ち合わせ。九月の予定。十五時、旧発行所の退去立ち会い。武田さんと。鍵返却。なじみの酒場に寄り、話すと、昼夜共に売り上げ半分の状態と。家賃補助八割が半年間出るので何とか頑張っている、と。

16日(木)▼「銀漢」夏の全国俳句大会」参加者二三名、投句数六六九句と盛況。選句。

17日(金)▼伊那北会(井蛙、光汪、伊那男)で今回は群馬県古墳巡りに。十一時、高崎駅。レンタカーで大室古墳(前二子、中二子、後二子)続けてかみつけの里博物館と保渡田古墳(二子山、八幡塚)。高崎駅ビルの「おぎのや」で酒盛りをして解散。

19日(日)▼久々の晴。和泉多摩川方面まで散歩、バスで戻る。「俳句

界」十月号に俳句とエッセイ。角川「俳句」九月号に小島健句集「山河健在」書評。二頁。「俳句あるふあ」秋号へ俳句とエッセイ。各々発送。日曜日でもあり、十五時から飲もう、という娘の提案に乗り、昼からの酒盛り。

21日(火)▼農家の野菜買い。あと一時間ほど散歩。久々、超結社句会「火の会」をしようということになり、新発行所で最初の句会となる。広渡敬雄、竹内宗一郎、峯尾文世、阪西敦子、天野小石、幹事・太田うさぎの七人。三月以来のこと。帰路、神保町駅ブラットホームのガードマン中村さんと久々に会う。私を見かけなくなつたので、心配していた。有難いこと。色々な方に支えられていた……。

22日(水)▼久々の二日酔い。「第二十九回信州伊那井月俳句大会」の投句の選。応募句一三二八句ありヘトヘト。

24日(金)▼十七時半、川口駅で慶大茶道会時代の友人奥ノ木和雄君と会う。近くの割烹「和食 おかむら」でこ馳走になる。刺身、鮎塩焼、他。最後、帆立とトウモロコシのご飯。喫茶店で話の続きをして別れる。帰宅二十時過ぎ。

27日(月)▼「銀漢」九月号の選句終了。大溝、朽木、花果さんに発送。店の客だった高部務さん(最近是小説家に転身)より連絡あり、山梨の別荘に來ないかと。

29日(水)▼彗星集の選句、選評を書き、美紗さんに送る。これで九月号の原稿全部終了。

31日(金)▼伊那北会(井蛙、光汪)で小田原城の古城郭巡り。十時、小田原駅西口集合。北条早雲の火牛の像を見て、小田原高校周辺の土塁などを見学。八幡山の小峯大堀切などは圧巻。あと、今の天守閣の城へ。天守閣の資料館で、後北条五代の歴史展示を見る。「ちん里

う」で梅干し。向かいの店でいろいろを買う。かまぼこ通りに入

り、「小田原 かまぼこ発祥の店 うろこき」でビール、酒、おでん、練り物など一服。駅前の「山安」で、干物、「守谷」のあんぱんなどを求め、魚料理店で刺身、煮魚などで酒盛り。

8月1日(土)▼二日酔い。娘の車で農家の野菜買い、茹でたり、焼いたり下ごしらえ。朝妻力さんより今年の「雲の峰」はネット総会になるが、誌上講演会の講演資料を欲しいとの依頼。原稿六枚ほど書く。近所のN家、ヘアメイクの中川さん来たので九時過ぎから酒宴。料理は即興で焼茄子、伏見唐辛子の直火焼。空心菜のオイスターソース炒め。インゲンの和え物、湯剥きトマトのオリーブオイルと塩だけのサラダ、昨日の小田原城で仕入れた烏賊焼きなど。

2日(日)▼昨日で梅雨明けらしい。NHK俳句「俳人発、俳人着」に堀切克洋君について千六百字ほど送る。昼、二子玉川まで散歩。帰りはバス。夜、成城仲間二家族ほど来たので余り物で供応。

3日(月)▼昨夜の酒残る。昼、散歩。砧公園往復一万三千歩位。炎天下でなかなかキツイ。戸矢一斗さんが纏めてくれている銀漢の「季語別句集」の私の句、三百数十句のリスト着。二百句ほどに削り返送。手間のかかる作業に頭が下がる。角川「俳句」の立木編集長より電話あり、来年一年間「合評開談」の依頼あり。受ける。

6日(木)▼「玉藻」(星野家)九十周年祝賀会(九月四日)延期のお知らせ。「銀漢」九月号の校正稿武田氏へ投函。「高遠句会」の守屋明さんに便り。「街」同人評竹内宗一郎編集長に送る。鮎十本焼く。